

睡眠障害を抱える独居高齢者の課題を解決する デジタルとリアルを融合した一次予防DX

採択事業者名

Nurse and Craft株式会

コンソーシアム構成員

社
株式会社ユーリア | 株式会社FESREC

県内拠点設置

あり

所在・役割

松山市・営業所



事業概要

1. 事業の狙い

身体データ(ウェアラブルデバイス)と栄養データ(試験紙&アプリ)を基にして、地域の介護事業所に所属する看護師が、独居高齢者の睡眠改善を図る一次予防DXを実施し、高齢者のQOL向上と新たな産業づくりで社会的インパクトの創出を目指す。

2. 県内のターゲット事業者

医療機関(薬局)、介護事業者(訪問系)

3. 紐づく課題

愛媛県健康寿命は、男性ワースト2位、女性はワースト4位。愛媛県の心疾患の粗死亡率は全国2位。睡眠障害を抱え、かつ独居の高齢者はおよそ15万人程度と推測する。※高齢者全体の3割

4. 実施内容

8月:備品調達、被験者リクルーティング、協力病院連携、サービス提供の事前レクチャー、システム開発
9~11月:松山市で実証実験、導入支援サービスの確立(マニュアル等)、外部勉強会(1)
12月:アンケート・データ集計と解析
1~2月:成果報告の取りまとめ、外部勉強会(2)



解決策(サービス/プロダクト)

スマートウォッチで身体データと行動データ、尿検査キットで体内の栄養状態を可視化します。それらのデータを基に健康管理のアドバイスを日常会話と共に、月に1回30分ユーザー宅に訪問して実施します。



デジタル活用の要素

取得データ

歩数、安静時心拍数、睡眠データ、ビタミンC、カルシウム、マグネシウム、亜鉛、水分、野菜摂取量、糖質、脂肪燃焼(ケトン)、酸化ストレス、塩分、体重、血圧、体温、脈拍、SPO2

データ活用による考察・示唆

日中の活動量が睡眠に影響することが確認でき、適切なアドバイスへとつながられた。栄養状態を可視化することで、その後の栄養改善への行動変容が確認できた。現在、取得データから看護師の知見でアドバイスをしているが、今後はAI実装によって自動生成を試みる。その結果、人材の多様化が図れる。

成果と今後

成果(含む想定)

	実装前	実装後(～今年度末)	今後3年の見込み (～2028年3月末時点)
経済効果	愛媛県への経済効果 約195億円 ①医療費の削減:135億円 ②地域経済への波及効果:60.5億円 デジタルデバйд解消、外出機会増加、独居世帯のコミュニケーション支出、ローカルバスの持続可能性・交通費の節約	> 1660千円	> 2.5億円
スコア進捗	【① IdK】 対象ユーザーの獲得 13名	結果サマリ 12名	
	【② IdK】 継続希望に繋がる満足度向上 70%	結果サマリ 70%	
	【③ IdK】 STARTWELL実装先の拡大 3社	結果サマリ 3社	
デジタル人材輩出	アクティブ人材:2名 ポテンシャル人材:44名 関心層:100名	【CとLとG】 1社×4名 4名 【YとFとLとG】 実装先スタッフ等 42名 【GとY】 勉強会・包括 121	【CとLとG】 12社×5名 60名 【YとFとLとG】 12社×10名 120名 【GとY】 訪問・薬局752×5 3760名
定性的/非連続な価値 (具体的な行動変容/組織変容など)		具体例 実装先における高齢者のデジタル利用への誤認識の解消と一次予防マーケットのポテンシャルへの気づき。	

新規実装・協業に至った事例 ※県内

協業	基礎自治体	STARTWELLのサービス提供連携
協業	松山市地域包括支援センター 10施設	送客(対象者にサービス紹介)、介護予防教室への参加

その他の“for 愛媛”要素

- ・実装先に特別価格としてディスカウントで提供
- ・愛媛県での本格的な展開のために松山市に営業所を設置